

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

学校番号	18	学校名	岐阜工業高等学校（全日制）
------	----	-----	---------------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	地域や企業等と連携・協働した学びを推進する工業高校として 工業系のスペシャリストとして必要な最新の専門知識と高度な技術、技能の修得を通して これからのものづくり産業を担う人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	1 確かな学力・健やかな体・豊かな心の調和のとれた人材の育成 2 自立力・共生力・自己実現力のある人材の育成 3 高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦できる人材の育成 4 地域社会の発展に貢献できる人材の育成		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> ・「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心の調和」の取れた生徒 ・「自立力」「共生力」「自己実現力」のある生徒 ・高い志とグローバルな視野を持って夢に挑戦できる生徒 ・地域社会の発展に貢献できる生徒 	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の確実な定着と主体的な学習態度の育成、授業規律の徹底 ・確かな技術や技能と生きる力を育む、特色ある工業教育の推進 ・信頼と愛情を基盤とした共感的な生徒理解に徹する積極的な指導の充実 ・将来の自己実現を目指すキャリア教育（進路指導）の推進 ・規範意識の高揚を図った部活動の振興 	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに興味をもち、他者と協議しながら主体的に学び、「ものづくり日本一」を目指す生徒 ・資格取得に興味を持ち、多様な学びに主体的に取り組み、自らの可能性に挑戦し、「資格取得日本一」を目指す生徒 ・部活動に興味を持ち、部活動と学習を両立し、3年間意欲的に取り組み、「部活動日本一」を目指す生徒 	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「ものづくり日本一」「資格取得日本一」「部活動日本一」の実現。 ・基礎学力の確実な定着および学力伸長を成し遂げるための学習指導の工夫。 ・生徒の幅広い進路希望を実現する指導・支援の充実。 ・規律ある生活習慣および規範意識を身につけるための指導の徹底。 		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・100年の伝統を有する県内工業科フラッグシップ校として特色ある教育活動を幅広く実践し、将来を見据え魅力ある学校づくりを推進する。 ・実践的な研修を計画的に実施し指導力の向上を図るとともに、働きやすく、働きがいのある良好な職場環境づくりを推進する。 	
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律を徹底し、ICT教育機器を活用した主体的な学習を工夫し、学力の定着および学力伸長を図る。 ・探究的な学習や、資格取得、競技会出場、ものづくりへの支援を計画的に実施し、未来の社会を担うテクノロジストを育成する。 	
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・企業見学、進路講話など地域産業や家庭等と連携したキャリア教育を推進し、生徒の主体的な進路選択、自己実現を目指す。 ・高校3年間を通し学年や学科、分掌など教員の連携を強化し、段階に応じたキャリア教育と生徒への支援体制を拡充する。 	
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒主体の挨拶運動や交通安全運動、部活動や行事を計画的に実施し、主体性や規範意識を育成し、能力や個性を伸長する。 ・家庭や地域社会、専門機関と連携して、組織的な生徒指導・教育相談活動を推進し、さまざまな問題の未然防止・早期発見・早期対応に努める。 	

年度目標			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標
学校経営	①工業科の特色を生かした学校運営や指導内容、広報活動の改善を継続し、地域住民や企業、保護者など地域と一体となって魅力ある学校づくりを推進する。	施策IV-20	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒および保護者対象アンケートの結果 ・探究活動の実施状況 ・研修会の実施状況 ・学校運営協議会などにおける地域の方や保護者の方のご意見
	②「地域課題探究型学習推進事業（地域産業担い手型）」基幹校として、探究活動を軸とした「ふるさと教育」を推進する。	施策I-4	
	③教員のニーズや教育の今日的課題に即した実践的な研修を計画的に実施し、教職員の資質・指導力の向上に努める。	施策IV-26	
	④管理職および教職員の連携を密にし、働きやすく、働きがいのある良好な職場環境づくりを推進する。	施策IV-28	

年度末評価(自己評価)			
取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
<ul style="list-style-type: none"> ・各学科や各分掌において多数の産学官の地域連携事業を展開し、「満足度日本一の工業高校」を目指し実践的な教育を推進した。 ・ICT活用や救急法など実践的な職員研修を実施した。 ・InstagramやHPを活用した広報活動を強化した。 ・交通安全運動、文化祭育友会食品バザーなど育友会の役員を中心に活発な育友会活動が行われた。 ・管理職と職員、外部機関との連携を密にし、活気に溢れ良好な職場環境づくりを推進した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○「ものづくりコンテスト」では昨年度より多くの最優秀賞、優秀賞を受賞した。 ○「地域課題探究型学習推進事業」においては、他校の生徒との関わりの中でリーダー的な役割を果たした。 ○地域連携が深化し、実社会と直結した学びが実現した。 ▲学科や教科を超えて学習指導について学ぶ研修が不足している。 	

学習指導	①生徒個々および各学科の特色に応じた、主体的・協働的・実践的な学びを充実し、社会で生きる力を育む。	施策Ⅱ-8	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒および保護者対象アンケートの結果 ・授業アンケートの結果 ・資格取得などの結果 ・ICT活用の状況 ・学校運営協議会などにおける地域の方や保護者の方のご意見
	②授業規律を徹底し、学力を定着、伸長し、テクノロジストを育成する工業教育を充実する。	施策Ⅱ-14	
	③技術や技能を磨き、資格取得や各種競技での活躍を目指すとともに、中学校への出前授業や地域行事への参加を通じ、ものづくりや産業への関心を広めるための活動を実践する。	施策Ⅱ-10	
	④ICT機器を積極的に活用した主体的な学習を実践するとともに、テクノロジストとしてICT社会に対応できる技術を修得する。	施策Ⅱ-9	
進路指導	①インターンシップや企業見学、進路講話など、地域の産業界や教員が連携したキャリア教育を高校3年間を通して推進し、主体的な進路選択、進路実現を目指す。	施策Ⅱ-13	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒および保護者対象アンケートの結果 ・保護者を対象とした進路に関わる行事の実施状況 ・海外交流の状況 ・進路目標ならびに進路決定の状況 ・学校運営協議会などにおける地域の方や保護者の方のご意見
	②保護者に対する進路に関わる情報発信を積極的に実施し、家庭と連携して生徒の進路実現を支援する。	施策Ⅰ-7	
	③各種講話や読書指導・小論文指導を通じ、今日的な社会の課題について学び考察することで、主権者として社会で自立して生きる力を身につける。	施策Ⅱ-12	
	④海外姉妹校との交流などを通じ、グローバルな視野や経験を持ち、社会で広く活躍できる能力を育成する。	施策Ⅱ-11	
生徒指導	①生徒主体の挨拶運動や地域清掃活動、ボランティアへの積極的な参加により、規範意識や自己管理能力、コミュニケーション能力を育成する。	施策Ⅰ-1	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒および保護者対象アンケートの結果 ・交通安全指導の実施状況 ・部活動・行事の実施状況および成果 ・いじめアンケートや教育相談の状況 ・学校運営協議会などにおける地域の方や保護者の方のご意見
	②生徒や保護者、職員による交通安全運動や情報モラル指導、生活指導を実施し、生徒の安全・安心を守る安全教育の充実を図る。	施策Ⅲ-19	
	③部活動や行事を計画的に実施し、スポーツや文化芸術、専門科目に関する能力や個性を伸ばす教育を充実する。	施策Ⅳ-24	
	④家庭や地域社会、専門機関と連携して、組織的な生徒指導・教育相談活動を推進し、いじめ等さまざまな問題の未然防止・早期発見・早期対応に努め、指導を徹底する。	施策Ⅰ-3	

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和8年2月5日

<p>(1) 学科横断型の探究プロジェクトを設置し、複数学科を対象とした講座や、他学科や地域に還元する機会を設定する。それにより各学科の取組を全校に広げ、取組の差を縮小し、全体的な向上を図る。また、各学科や各教科を横断した研究授業を実施し、教師の指導の幅を広げる。</p> <p>(2) 生徒自身がタブレットを活用して理解・思考力を深める授業実践を強化する。同時に、学習用タブレットの個人所有への変更もふまえ、生徒に対する情報モラル、規範意識や倫理観の指導を全職員で実施する。</p> <p>(3) 進路情報の収集・活用方法についての指導を強化する。進路比較表やチェックリストのテンプレートを提供し、情報の可視化により情報を整理し、主体的に進路決定していくための支援を行う。</p> <p>(4) 各種講話や講座による学習を一過性で終わらせることなく、事前学習教材、事後学習教材（動画・スライド・ミニテスト等）を整備し、講座の理解度の底上げや深化を図る。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究や実習など、多彩な主体的・共同的・実践的な学びに取組み、イベントや生徒研究発表会において企業や地域の方、保護者に対してその成果を披露した。 ・授業規律を徹底し、ICTを積極的に使用し生徒の理解を高める授業実践に取り組んだ。 ・各学科資格取得や各種競技での活躍のための指導に注力した。 ・出前授業や地域イベントに数多く参加し、小学生や中学生、地域の方と積極的に交流し、ものづくりや産業教育についての興味関心を広めた。 	B	<p>○資格取得意欲の向上と、探究活動の充実により、主体性や社会性、表現力を育成し、生徒の進路選択の幅が拡大した。</p> <p>○地域での取組を通じ、生徒自身の成長とともに、地域社会の活性化や発展に貢献した。</p> <p>▲AIやデジタル表現、データ活用といった先端技術の扱いについて、学科間で量や質に差があった。ICT社会の核となる人材として将来生徒が活躍できるような指導が必要である。</p>
		B
<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ、企業見学、進路ガイダンス、進路相談、進路適性検査等により、具体的な進路情報を提供するとともに、生徒が自身を見つめ進路目標を明確にできるよう支援を行った。 ・進学支援のための「岐工アカデミア」を夏季休業中も含め継続的に実施し、小論文指導や志望理由書の全体指導、個別指導を行った。 ・就職や進学のための小論文、表現力錬成特別講座を新規に実施した。 ・保護者向けの進路説明会や教育懇談会などを通じ、家庭に対し情報発信を行った。 ・姉妹校である台湾成功大学附属臺南高級中等学校に訪問し、ホームステイなど充実した交流を行った。 	B	<p>○インターンシップ、企業見学、資格取得支援などにより、生徒の技能と職業意識が向上した。</p> <p>○進学では、難関大学を目標とする生徒が増加し、実現のため教師が丁寧に指導するとともに、生徒自身も主体的に努力を続けた。</p> <p>○講話や図書部による掲示、探究的な学習など、今日的な社会の課題について生徒が主体的に考察する場を多く設けることができた。</p> <p>▲生徒の多様な進路希望に応じた支援の一層の充実。</p> <p>▲情報収集や活用についての指導の工夫。</p>
		B
		B
		B

学校関係者評価

実施日：令和8年2月10日

<ul style="list-style-type: none"> ・地域や外部とのかわりが多く、生徒の話も聞いていても自主性が育っており、自分から行動することが身についている。こうした連携を続けてほしい。 ・「岐工アカデミア」で小論文対策をしており、就職だけでなく進学にも力を入れていたのはよかった。 ・課題研究や地域の事業の協力など、どの科もすばらしい取組を行っている。来年度以降、学校として、科をこえて地域連携をしていくことに賛成である。保護として、地域として協力していきたい。 ・岐阜工業高校の教員は、生徒に対して一人ひとりしっかり指導している。その結果が普通の生徒の生活やマナーのよさ、優れた取組につながっている。 ・生徒が皆、言われてやるのではなく、自ら走るという自走をしていることがよく伝わり、素晴らしいと感じた。
--